

これまでの経緯及び 第4回アジア・太平洋水サミット

第4回アジア・太平洋水サミット合同運営委員会

2019年6月4日 第4回アジア・太平洋水サミット 第1回合同実行委員会

1. アジア・太平洋水フォーラムについて

アジア・太平洋水フォーラム (Asia-Pacific Water Forum; APWF)

- アジア太平洋地域の水問題に対して、
 - 地域の声を取りまとめ、世界の優先課題にすること、
 - 地域の英知を結集し、課題の解決を目指す 国際ネットワーク組織
- 日本主導で設立に至る（第4回世界水フォーラムにて設立宣言／2006年9月、アジア開発銀行（ADB）本部にて発足式典）
- **アジア・太平洋水サミット**を主催
- APWF会長： 森 喜朗 元内閣総理大臣、日本水フォーラム会長
- 事務局： 日本水フォーラム（Japan Water Forum; JWF）



APWF設立を宣言する橋本龍太郎元首相

（2006.03, 第4回世界水フォーラム（於メキシコ）にて



APWF発足式典

（2006.09, ADB本部（於フィリピン）にて）

APWFの構成機関



Asia-Pacific
Water Forum

会長

森喜朗 日本水フォーラム会長、元日本国内閣総理大臣

執行審議会

議長: ラビ・ナラヤナン

(元ウォーターエイドCEO、日本水フォーラム評議員)

副議長: チャンファ・ウー

(ジェレミー・リフキンオフィス 中国/アジア地域ディレクター)

副議長: エルワルド・アララル

(シンガポール国立大学 リー・クアンユー公共政策大学院准教授 水政策研究所共同所長)

主要メンバー機関

- ・アジア開発銀行 (ADB)
- ・国連アジア太平洋経済社会委員会 (UNESCAP)
- ・国連食糧農業機関 (FAO)
- ・国連教育科学文化機関 (UNESCO)
- ・国連人間居住計画 (UNHABITAT)
- ・世界水パートナーシップ本部 (GWPO)
- ・国際総合山岳開発センター (ICIMOD)
- ・国際水管理研究所 (IWMI)
- ・シンガポール水事業庁 (Singapore PUB)
- ・水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM)
- ・アジア河川流域機関ネットワーク (NARBO)
- ・国際自然保護連合アジア支部 (IUCN Asia)
- ・淡水ネットワーク-南アジア (FANSA)
- ・オーストラリア水国際水センター (IWC)
- ・太平洋共同体 (SPC)
- ・オーストラリアニューサウスウェールズ大学 世界水機構 (GWI)
- ・国際アラル海救済基金執行委員会 (EC-IFAS)
- ・世界水パートナーシップ (GWP) 南アジア
- ・GWP 東南アジア
- ・GWP 中央アジア/コーカサス
- ・GWP 中国
- ・韓国水フォーラム
- ・日本サニテーションコンソーシアム (JSC)
- ・世界トイレ機構 (WTO)
- ・アジア工科大学 (AIT) 等

事務局：日本水フォーラム



Asia-Pacific
Water Forum

2. アジア・太平洋水サミットの概要

- アジア太平洋地域（49カ国）の首脳級を含むハイレベルを対象とし、水問題に対する認識を深め、具体的な資源動員や行動を促すことを目的として開催される国際会議
- アジア・太平洋水フォーラム（APWF）がホスト国・ホスト市と主催
- これまで3回開催
 - **1st APWS** **大分県別府市** **2007年12月**
 - **2nd APWS** **タイ・チェンマイ** **2013年5月**
 - **3rd APWS** **ミャンマー・ヤンゴン** **2017年12月**



第1回アジア・太平洋水サミット

テーマ: Water Security: Leadership and Commitment

- 日程: 2007年 (平成19年) 12月3日 - 4日
- 開催地: 日本 (大分県別府市)
- 参加者: 日本の皇太子殿下、オランダの皇太子殿下 (当時)、
首脳級10名、大臣級32名を始め、合計371名が参加
UNESCO事務局長、ADB総裁等も参加
- **成果: 「別府からのメッセージ」の採択**
 - 首脳級会合として、初めて水災害を優先課題として位置づけ
 - MDGsからさらに踏み込み、安全な飲料水や基本的な衛生設備の利用ができない人々の数を2025年までにゼロを目指す

第2回アジア・太平洋水サミット

テーマ： Water Security and Water-related Disaster Challenges: Leadership and Commitment

- 日程：2013年5月19日（日）-20日（月）
- 開催地：タイ（チェンマイ）
- 参加者：首脳級18カ国、閣僚級16名、を含む300名以上が参加
- **成果：「チェンマイ宣言」を採択。**

- アジア太平洋地域各国の水の安全保障に関する定量的・定性的評価について研究成果を発表
- 2011年のタイ洪水の経験から、災害リスクの低減を、SDGsに組み込むことを提言



第3回アジア・太平洋水サミット



テーマ: Water Security for Sustainable Development

- 日程: 2017年12月11日 (月) -12日 (火)
- 開催地: ミャンマー (ヤンゴン)
- 参加者: 16カ国20名の首脳・閣僚級を含む700名以上が参加
- **成果: 「ヤンゴン宣言」を採択。**

- 2025年までにすべての人々の水と衛生の確保 (SDGsを5年前倒し)
- 健全な水循環の管理、ガバナンスと包括的な開発、水関連SDGs実行のためのファイナンスを含む、持続可能な発展のための道筋を示す



(写真提供: Myanmar News Agency)



(写真提供: Myanmar News Agency)

3. 第4回アジア・太平洋水サミット (4th APWS)

- 日程: 2020年10月19日 (月) -20日 (火)
- 開催地: 日本 (熊本県熊本市)
- テーマ : Water for Sustainable Development -Best Practices and Connecting to the Next Generation- 持続可能な発展のための水～実践と継承～

※会場: 熊本城ホール



2019年3月26日、閣議了解 (外務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣の共同による閣議請議)

熊本市で4th APWSを開催することの意義： 広域連携・協働による水問題解決・健全な水循環管理



災害時における井戸水の提供に関する協定



米作りを通じた水田と地下水の保全



水源涵養林の植樹に貢献するボランティア



広域連携：転作田を活用した湛水事業

招聘予定国、及び招聘対象者

アジア太平洋地域の49カ国の元首・首脳級 (主催国日本を含む)

アフガニスタン、アルメニア、オーストラリア、アゼルバイジャン、
バングラデシュ、ブータン、ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、
中国、クック諸島、フィジー、ジョージア、インド、インドネシア、イラン、
イスラエル、カザフスタン、キリバス、韓国、キルギス、ラオス、
マレーシア、モルディブ、マーシャル諸島、ミクロネシア、モンゴル、
ミャンマー、ナウル、ネパール、ニュージーランド、ニウエ、
パキスタン、パラオ、パプアニューギニア、フィリピン、サモア、
シンガポール、ソロモン、スリランカ、タジキスタン、タイ、東ティモール、トンガ、
トルクメニスタン、ツバル、ウズベキスタン、バヌアツ、ベトナム、日本

各国元首・首脳級に加え、 主催者から招待状を発出する相手

国際：

- アジア太平洋地域の水関連の問題に取り組む国連機関、その他国際機関・地域間機関、研究機関、NGO・NPO、民間企業、事業体のトップやそれに準じる人物。

日本国内：

- 日本国政府関係省庁、自治体・事業体、アジア太平洋地域の水関連課題に取り組む専門機関（政府関係機関、民間企業、学術機関、NGO・NPO等）のトップやそれに準じる人物。

その他参加者：

- 国内外問わず、本体会合のスピーカーやパネリスト、本体会合の聴講者、サイドイベントへの参加者。

<予定参加者数> 300～400名程度

第4回アジア・太平洋水サミット成果物（案）

- 成果文書（仮称：熊本宣言）
- 最終報告書
- 分科会開催報告書
- APWFポリシーブリーフ